



# 箕面まちづくりニュース

# “市民のチカラ!”

2016年07月号

箕面の明日をつくる会 Fax 06-7635-7195

## 倉田哲郎市長 プロフィール

昭和49年 静岡県清水市(現・静岡市)に生まれる

平成9年 東京大学法学部卒業

郵政省(現・総務省)入省

平成15年 箕面市役所に勤務(出向)

平成18年 総務省に戻る

平成20年 総務省を退職し、市長選挙に挑戦 34歳で箕面市長に

初当選(当時、全国最年少)

平成24年 全国市長会理事

◆特技 日本泳法(水府流太田派)

日本水泳連盟主催の

全国大会で団体戦優勝

◆趣味 ベースギターを弾くこと

◆家族は、箕面で出会った妻と、箕面生まれの3人の息子たち

◆口ぐせ

「変えるべきは断固として変え、伸ばすべきは思い切って伸ばす」

◆好きな言葉

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」



(上杉鷹山)

### 豊川支所にもキッズコーナー!

ただいま子育て中の母です。毎日どこで子どもを遊ばそうかと日々情報収集をしています。市役所本庁へ手続きに行った際は、とても広い子どもスペースに驚き、十分に子どもが遊ぶことができ、安心して手続きを終えることができました。

そんな中、とうとう豊川支所にもキッズコーナーができました。とてもかわいらしく、今や子どもも知っているゆずるバスのイスやお絵かきボード、テラスに出ることも出来るなど、子どもも大人も安心して楽しく過ごせる場所になりました。子どもが楽しく過ごせる場所はイコール親にとっても楽しい場所ですもんね。箕面市内のいろんな場所での子ども連れへの配慮には本当にいつも感謝しています。子育て日本一を有言実行の倉田市長、これからもがんばってください。(小野原 S.M)



### 北急延伸実現 船場新駅に阪大箕面キャンパスが移転

このところ、ホットなまちづくりの話題が多い中、本好きの私が期待しているのが、大学専門図書も読める船場の新しい図書館や、学生たちと気軽に交流できる施設の整備です。倉田市長さん、ぜひとも阪大の学生たちといろんな活動で交流できる拠点として、キャンパス移転に併せた施設の整備をお願いします。(箕面 47歳 女性)

### 使いやすくなった箕面駅前駐車場・駐輪場

先日、阪急箕面駅から電車で大阪市内に出かける用事があり、建て替えて便利になると聞いていた箕面駅前第一駐車場を利用しました。車路や駐車区画がゆったりと確保されていて、空き区画を見つけやすく、また、駐車もとてもし易かったです。

雨の日の利用だったので「駐車してから駅まで傘が必要だな」と思っていたのですが、なんと、駐車場の2階とサンプラザ1号館の2階が渡り廊下でつながっていて、阪急箕面駅まで雨に濡れずに移動できるようになって驚きました。これはありがたいです。

また、以前の3階建てだった駐輪場は、2、3階まで自転車を押してあがらなければならないことがありましたが、新しい駐輪場は1階で、以前よりも多くの台数が止められます。高齢者も楽々に駐輪できるので、優しくなったと感じます。しかも、おしゃれなブックカフェもオープンしましたね。

利用者の使い勝手に最大限の配慮をした建て替えの実現に感謝します。ありがとうございました。(稲 67歳 F.G)



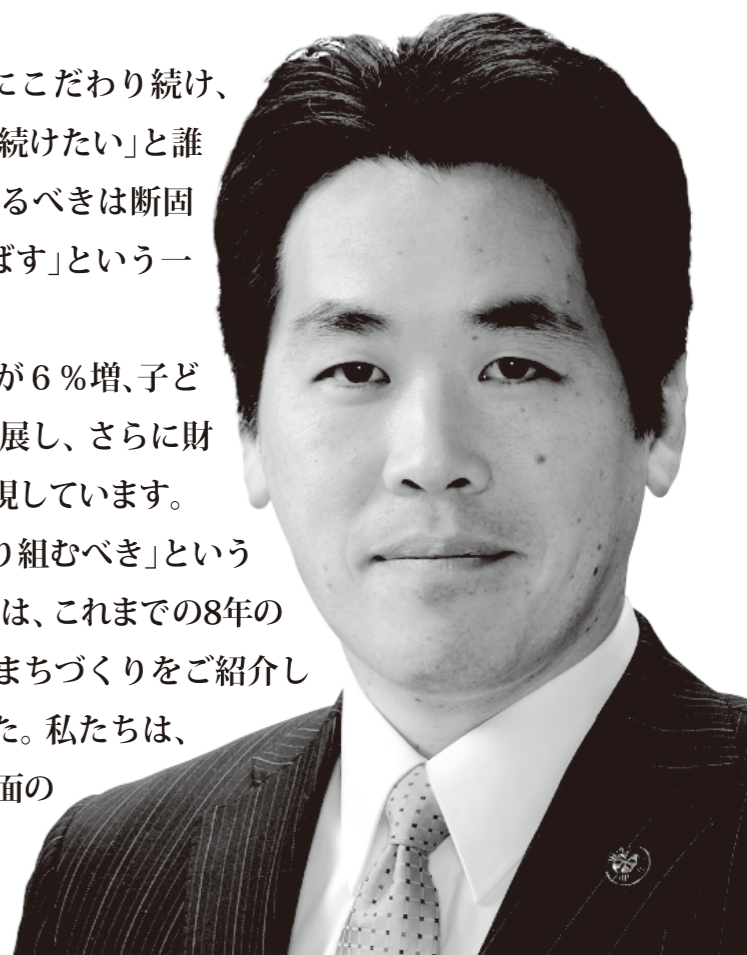
さらなるステージへ加速する  
まちづくりは

8年前、長らく赤字続きで低迷していた箕面市政を打破すべく誕生した倉田哲郎箕面市長。若さと実行力でスピード感をもって走り続け、公約を次々と実現してきました。

この間、常に市民目線で愛すべき箕面にこだわり続け、「箕面に住んでいて良かった」「ずっと住み続けたい」と誰もが感じられるまちをつくるため、「変えるべきは断固として変え、伸ばすべきは思いきって伸ばす」という一貫した姿勢で取り組んでいます。

その結果、箕面のまちは、7年間で人口が6%増、子どもの人口は14%も増加するなど大きく発展し、さらに財政面でも黒字へ転換するなどV字回復を実現しています。

「まちづくりは、最低でも10年単位で取り組むべき」という持論の倉田市長。今回の“市民のチカラ”では、これまでの8年の取り組みと、さらなるステージで取り組むまちづくりをご紹介します。暑い夏の戦いまで1ヶ月を切りました。私たちは、倉田哲郎市長のまちづくりに共感します。箕面の未来に向けて、ともに進んでいきましょう。



## 箕面の明日をつくる会 講演会

◎弁士 倉田哲郎 (箕面市長)

◎弁士 國定勇人 (新潟県三条市長)

8月9日(火)

主催:箕面の明日をつくる会

時間:18時30分開場 19時開演

場所:メイプルホール 大ホール

倉田哲郎 Web Site <http://kurata.info/>

倉田哲郎

検索

Twitter(つぶやき)へも、ココから!



倉田哲郎 Web Site <http://kurata.info/>

# 安心・支え合い 最優先

明るく健康づくりができる、楽しく運動できる、元気に活動できる、そして災害に強いまち。優しく支え合える「箕面」を実現したい。

■ 「元気で長寿の人が多い」と驚かれるような街をめざして、「シニア活動応援交付金」により、シニア世代の地域活動・サークル活動をサポートします。

■ 市立スポーツ施設について、定期的な改修と備品更新を確約する「スポーツ施設マネジメント・ルール」を策定し、利用料とのバランスをとりつつ改修を進め、気持ちよく運動を楽しめるように施設を再生します。

■ 高齢者から子どもまで幅広い世代で健康増進・体力づくりを進めるため、通年利用できる「屋内温水プール」に、スライダーなどの夏季水遊設備を併設した「総合水泳・水遊場」を整備します。

■ 老朽化した「あかつき園」の建替えを契機として、障害者通所施設を市内にバランスよく拡充し、障害者市民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えます。

■ 市民の安心の拠点として開院35年が経過し、大阪府内の公立病院では最古の施設となった「箕面市立病院」のリニューアルの検討に着手します。

■ 山並みを擁する箕面にとって脅威となる土砂災害の対策工事を進め、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を縮小し、「レッドゾーン内の人家ゼロ」をめざします。

# 子育てしやすさ 日本一

身近で交流ができる、安心して医療が受けられる、いつでも保育園に入れる、そして頼れる教育のまち。子育てなら「箕面」と言われたい。

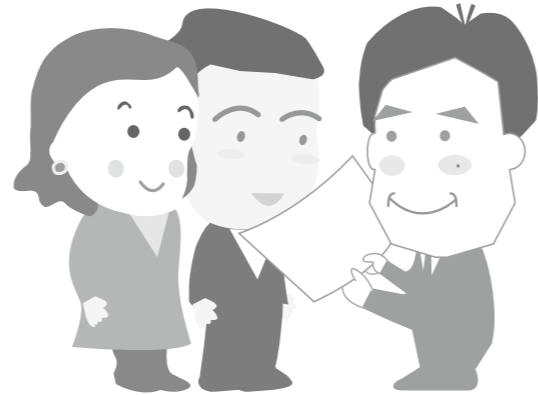
■ 子どもの医療費助成の対象を、高校卒業（18歳）までに拡大。通院・入院とも所得制限を設けず、子どもたちの健康を守ります。

■ 4年以内に約500名分の保育所定員を拡大し、年度当初(4月)だけでなく、1年を通して必要なときにいつでも保育園に入れる「通年の待機児童ゼロ」を実現します。

■ 公共施設や店舗のキッズコーナー・キッズパークを増やし、親子で過ごし交流できる身近な外出先を広げるとともに、各キッズコーナーへの「子育て巡回相談」により、気軽に子育ての相談ができる環境を整えます。

■ 英語ネイティブの外国人の先生（英語指導助手）を、全小中学校の全学年に1名ずつの全数配置に拡大するとともに、幼稚園・保育園にも派遣し、子どもたちのコミュニケーション力を育てます。

■ 徒歩40分を超える長距離通学となっている船場周辺エリアを新たに1つの小学校区とする学校建設や校区調整の検討をスタートし、子どもたちの通学環境を整えます。



# 緑・住みやすさ 最先端

心地よい公園に、豊かな山、守るべき田園に、整備された交通網、そして緑に親しめるまち。もっと「箕面」を住みやすくしたい。

■ 身近な公園について、「子どもが駆け回る公園」、「大人が落ち着ける公園」など、タイプを分けて特長を伸ばし、子どもから高齢者までそれぞれにあった居心地の良い空間になるよう公園再生を進めます。

■ 山麓保全ファンドを軸として箕面のシンボル「緑」の保全・育成を進めるほか、箕面の豊かな山を活かして親子で郷土に親しめるフィールド・アスレチックを整備します。

■ 箕面らしい田園景観を守り育てるとともに、朝市や学校給食への箕面産野菜の供給拡大のため、農業者・農業公社とともに農業生産の倍増をめざします。

■ 市内の主要施設・商業地を結ぶルートに「自転車走行レーン（青いレーン）」を整備し、歩行者が安心して歩ける、自転車もスムーズに移動できる、歩車分離の安全な外出環境を整えます。

■ 未整備の都市計画道路について、不要ルートの廃止や、欠落ルートの補完新設など、長期的な街の変化を見据え、今の時代にあわせた道路ネットワーク計画を再構築します。

■ 箕面の西の玄関口である阪急桜井駅前の再整備、阪大キャンパス移転後にむけた粟生間谷の新たなまちづくり、新名神の開通間近の止々呂美の観光資源の拡充など、主要拠点のまちづくりを進めます。

■ 北大阪急行線の延伸と2つの新駅の拠点を整備するとともに、箕面森町・彩都などニュータウンの生活機能を充実・育成していきます。

倉田哲郎市長の足跡 8年間の活動録	
1 期 目	<ul style="list-style-type: none"> <li>第15代箕面市長に就任（8/27）</li> <li>子どもの医療費助成を拡大</li> <li>箕面グリーンロード(トンネル)の値下げに向けた社会実験を実現</li> <li>市立小・中学校・幼稚園の耐震化率100%を達成(大阪府内初)</li> <li>豊富な知識と経験をお持ちの方々の仲間づくりと地域づくりのための「シニア塾」開校</li> <li>箕面駅周辺と滝道のリニューアルを完了。滝道で「川床」を復活</li> <li>平成21年度予算で6年ぶりに経常収支を黒字転換</li> <li>新たなバス交通「オレンジゆずる」バスの運行を開始</li> <li>余野川ダム負担金について国が異例の返還決定、箕面市負担分の全額返還が確定</li> <li>全市立小学校に地域防犯活動拠点「地域安全センター」を設置。警察官が定期巡回</li> <li>箕面市学力体力生活状況総合調査スタート</li> <li>住みよざらキング大阪連続1位の始まり</li> <li>保育所の待機児童数をゼロにする「箕面市待機児童ゼロプラン(H21.10)」を達成</li> <li>新稲の山林を無償で借地し、市民の森「箕面新稲の森」として保全。甲子園球場1.3個分</li> </ul>
H20 8月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>2期目 第16代箕面市長に就任（8/27）</li> <li>全国初の「希望業務選択方式」による総合評価入札で公共施設の管理経費を約3億2千万円削減</li> <li>小野原地域の多世代交流拠点「小野原多世代地域交流センター」がオープン</li> <li>各小学校区の地区防災委員会が中心となる「全市一斉総合防災訓練」実施</li> <li>「箕面市・緊急経済対策プロジェクト」を発表。74億6千万円の事業を地域に還元するとともに、市の負担を20億6千万円軽減</li> <li>H24年度決算で10年ぶりの完全黒字を達成し、箕面市財政のV字回復を果たす</li> </ul>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 箕面の農地を守るため、箕面市版「農業公社」を設立</li> <li>福祉複合施設「福ふれあいセンター」がオープン</li> <li>子どもの医療費助成を全国トップクラスの中学校卒業までに拡大</li> <li>箕面森町への「(仮称) 履正社大学」の誘致に合意</li> <li>小野原地域に「多文化交流センター・小野原図書館」がオープン</li> <li>全市立小中学校でエレベーターの設置を完了(大阪府内初)</li> <li>全市立中学校で自校調理方式による給食をスタート</li> <li>「ペット霊園等を規制する条例」を議会で可決</li> <li>2 市役所窓口業務の「土曜日開庁」を本格実施</li> <li>3 北大阪急行線延伸の事業化について、大阪府、鉄道事業者との基本合意書を締結</li> </ul>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 「桜井駅周辺地区再整備計画」を策定、桜井駅前の再整備を本格化</li> <li>6 人事・給与構造改革を推進。箕面市版「公務員制度改革」の関連条例を議会で可決</li> <li>10 不妊治療費用の助成に向けた補正予算を議会で可決</li> <li>12 箕面市独自の目的税「開発事業等緑化負担税条例」を議会で可決（H28年7月施行）～開発事業者から税をいただき、市街地の緑化や農地保全、里山保全活動に活用～</li> <li>1 乗りたい時に乗れる「オレンジゆずるタクシー」を運行開始</li> <li>2 自転車事故の防止を目的とする「箕面市自転車安全利用条例」を施行</li> <li>3 全市立小中学校の通学路に750台の防犯カメラを設置</li> </ul>
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 自治会への防犯カメラ設置費用90%補助を開始（～H28）</li> <li>5 ペットボルの全戸収集を開始</li> <li>6 小・中学校の全学年で英語授業の毎日実施をスタート</li> <li>7 中央図書館をリニューアルオープン！ ～子どもたちがのびのびできる「にぎやかエリア」と静かに読書が楽しめる「一般エリア」にフロアを分割～</li> <li>8 Jリーグが箕面市をガンバ大阪のホームタウンとして公式認定</li> <li>9 牧落交番を市役所敷地の目立つ場所(南東角地)に移転。箕面警察との連携強化</li> <li>10 豊川(支所)に0～2歳児を対象とした小規模保育事業所「ひじりとかかわ保育園」開設</li> <li>11 「滝ノ道ゆずる」ナンバープレートを発行開始 ～2種類のオリジナルナンバープレートが選択可能に(府内初)～</li> <li>12 台湾の旅行会社とメディアを招待し、箕面の魅力体感ツアーを実施</li> <li>13 プロのスタントマンが交通事故を再現するスケアード・ストレート教育技法による自転車安全教室を市立中学校で実施（H24年度から毎年実施）</li> <li>14 子どもが選ぶ「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」開催（H22年度から毎年実施）</li> <li>15 学習塾の映像コンテンツを活用した学力向上実証研究を実施</li> <li>16 「ゆるキャラグランプリ」で滝ノ道ゆずるが5年連続大阪1位（全国20位/10921ヶ市中）</li> <li>17 箕面オリジナル「ゆずる完熟堆肥」の販売を開始</li> <li>18 全市一斉総合防災訓練を実施（H24年度から毎年実施）</li> <li>19 H28年度予算案を発表（市長就任以来8年連続で経常収支を黒字化。前年度より改善）</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 「改正下水道条例」を施行。下水道使用料を値下げ</li> <li>5 豊能町と消防本部を統合。消防の広域化で消防力の強化と効率的な運営を実現</li> <li>6 民間活力を導入し、PII事業手法で箕面駅前第一駐車場と駐輪場をリニューアルオープン</li> <li>7 子どもの貧困の解決のため、世代間の連鎖を本気で断ち切る取り組みに着手</li> <li>8 シニア世代の地域活動・サークル活動をサポートする「シニア活動応援交付金」を創設</li> <li>9 学力向上パイロット校(3校)で教員、校務員を増強</li> <li>10 スマホを活用した小中学生の「見守りサービス実証実験」を開始</li> <li>11 大阪大学箕面キャンパスの船場新駅周辺への移転について、合意書を締結</li> <li>12 早朝から深夜まで、期日前投票所の時間延長と増設のため、市議会に係議案を提案</li> <li>13 東洋経済新報社の「住みよざらキング」で箕面市が5年連続の大阪1位を獲得</li> </ul>